

Down の 外科 研究 園

曩にダーウィンの家を買ひ英國に寄附した BUCKSTON BROWNE は此度ダーウィンの家に隣接する地所を外科研究の爲めに寄附し The BUCKSTON BROWNE Surgical Farm といふ、6月12日に The Royal College of Surgeons の長 Sir HOLBURT WARING によつて正式に開所、退職した Sir ARTHUR KIETH がこれを監督することになつた。

谷津直秀

新 著 紹 介

黒田長禮著 Birds of the Island of Java, Vol. I, Passeres ジャバ島の鳥類, 第一巻,
燕雀類 pp. XV+370, pls. XIV, 1 map.

昭和四年ジャバに於て第四回太平洋理科學大會の開かれた時、著者黒田博士は親しく日本代表員の一人として参列し、其際標品を採集し、歸京後尙ほ種々の方法によつて標品を多くし、これによつて研究せられた結果である。英文を以て綴り、是によると、1929年 DAMMERMAN の研究では Java に居る鳥の種類總數 445、種と亞種との總數 490、1929年 BARTELS 及 STRESEMANN 共著では種の總數 436、種と亞種との總數 492、著者今回の研究による種の總數 437、種と亞種との總數 502 である。本書は第一巻で、書物の大きさはフォリオ型で、大きい立派なもので、圖版は凡て色畫である。(昭和8年5月30日發行、定價 35.00 賣捌所東京日本橋丸善株式會社)

田中茂穂

大橋祐之助著 科學者は斯く生きる

著者は農學部水産學科の卒業後醫學を京都大學に修め醫學博士の學位を得た大橋氏、表題だけでは問題が判斷できないがこれは著者外遊の際ラマルク、ダーウィン、アンリーファーブル、メンデル、ヂェンナーの傳記を研究し舊蹟を尋ねた結果である。然し單なる傳記舊蹟の記載ではない、この生物學の四星が人として如何に生きたかを流暢な筆で記してある、著者撮影の寫眞が多く入れてある、讀んで面白いばかりでなく大に我々に教ゆるものがある。(恆星社發行、昭和8年7月發行、定價 1.80) 谷津直秀

會 報

小山準二氏 は 1931 年の夏以來米英に滞在研究されが本月 3 月に父君を失はれ最近印度洋を通り歸朝。
畑井教授 は 6 月 13 日 Vancouver の University of British Columbia より LL. D. の學位を得られたこれは同教授の名譽のみならず日本の名譽である。同時に動物學者ではバリーの GRAVIER が同學位を得た。

岡田彌一郎氏 は米國より歐洲に渡られ約一年の研究旅行を終へ再び米國を経て去る 5 月 25 日無事歸朝せられた。

平坂恭介氏 はヴァンクーヴァー開催の Pacific Congress に出席 8 月 3 日歸朝せられた。

蒲原稔治氏 (高知高等學校教授) は 8 月 1 日より 15 日までを魚類研究の爲め東大動物學教室で暮された。

蒲生英男氏 (1930 年卒業) は自動車の奇禍の負傷より全快 7 月 17 日附にて文部省圖書修官補に任ぜられた。

平岩馨邦氏 は 7 月 31 日尊父愷保氏葬儀の爲め出京、哀悼の意を表す。

鎌田武雄氏 は兼ねて Cambridge にて研究中であつたが 7 月 7 日 Leeds 大學の實驗生物學會出席大陸の旅行に上り 7 月末 Cambridge 大學の International Congress of Exp. Cytology に出席米國に渡り 11 月半歸朝の豫定。